

登壇者のビジネスプラン概要（五十音順）

◆SS GLOBAL(株) [札幌市]

シンガポールの著名インフルエンサーを招き、道内各地から生配信するライブコマースを通じて、道産食材・商品を輸出。今後、シンガポール現地の人気シェフによる調理法の発信や、インバウンド来道客へのプロモーション等を組み込む新たなモデルを計画。

◆カドウフーズ(株) [函館市]

北海道産の未利用・規格外野菜などサステナブルな素材を使用した菓子や惣菜を製造しており、レトルト野菜は添加物を使用せずに常温で2年保管可能。今後、アジアを中心に欧州も視野に輸出にチャレンジする。

◆CORRADO(株) [石狩市]

日本食専門貿易商社等での輸出ノウハウを元に、北海道産一次産品等をサウジアラビアなどのイスラム圏に輸出。今後、EC販売を効果的に活用しつつ、イスラム圏への輸出拡大を計画。

◆(株)ダイホク [札幌市]

日本や北海道の高品質な原料を用いた水産・農産加工品の自社商品およびOEM商品の輸出に加えて、地域商社として、道産の菓子、調味料等様々な商品を輸出。今後、幅広い商品力と、テレビショッピングやEコマースなどの多様なチャネルを通じて台湾や北米をターゲットに輸出を拡大する。

◆(株)New Pan Hokkaido [帯広市]

北海道産農畜産物（牛肉、米、野菜等）に生産情報や、商品トレース管理情報、消費者への商品PR情報を付加することにより、商品価値を高め、米国やアジア各国をターゲットに、デジタルを活用した海外消費者のニーズに合わせた農畜産物の輸出。

◆北海道資源貿易(株) [苫小牧市]

ホタテやブリなどの北海道海産物について、これまで先行事例がほとんどないブラジルをターゲットに、水産物の商流を構築し、新規販路開拓を計画。

◆北海道ワイン(株) [小樽市]

北海道産ブドウおよび日本産ブドウ100%の高品質な「日本ワイン」の輸出を促進するため、道産食材とワインとのペアリングを海外にPRするとともに、ワイナリーへのインバウンド誘致のプロモーションを通じて、輸出とインバウンド客増加の好循環を目指す。

◆(株)マージェリー [帯広市]

北海道・十勝地域の生産者とのネットワークを活用し、青果物を中心に卸・販売を行っており、新たに開発した常温輸送が可能なとうもろこし・かぼちゃ加工品のアジア各国への輸出を計画。

◆(株)マルナカ相互商事 [湧別町]

北海道産のホタテをメインに水産物の加工・卸・小売を行っており、産業廃棄物となるホタテの貝殻をアップサイクルしたパッケージや箸、商品アイコンとしてのゆるキャラのライブ配信による海外消費者へ訴求を通じて、ホタテ玉冷の輸出を促進。

◆(株)世帯屋 [札幌市]

独自製法により、添加物を使用せずに身崩れがしにくい「熟成うに」を製造しており、最先端の冷凍技術により味や風味を損なわない新鮮な「冷凍うに」をアメリカ、カナダ、台湾等各国へ輸出。